

企画競争審査基準

項目	評価基準	着眼点
1) 企画コンセプト	情報発信コンセプト趣旨を的確、適切にとらえた企画か。	<ul style="list-style-type: none"> ・メインターゲットの情報収集・発信に係る行動習性を踏まえた企画提案となっているか。 ・来場者が情報を入手・拡散し、県産品の認知度向上・販売促進に繋がる企画提案となっているか。
2) イベントと情報発信	企画内容は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ・県民及び県外の方が興味を持つような新たな視点での工夫があるか。 ・県産品に対する良好なイメージを発信できるか。 ・効果的により多くの方が情報を入手できるような工夫がなされているか。 ・集客増加・情報拡散が図られるための工夫があるか。 ・企画に無理がなく、実現可能か ・情報発信ツール・コンテンツ等が連動し、情報発信力を促進させる工夫があるか
3) テストマーケティング	テストマーケティングを行いサポートする体制や工夫があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なテストマーケティングの体制があるか。 ・定期的にアンケート調査等を行い、お客様の意見を取り入れる工夫があるか。
4) 県産品の展示・販売	販売物の企画・提案・実施は効果的か。	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを意識したVMD（ヴィジュアルマーチャンダイジング）を取り入れた展示・販売方・取扱商品の選定となっているか。 ・魅力的な販売物やPOP掲示となっているか。 ・会計・接客・販売状況の報告は適切か。 ・各種許可・法令遵守は適切か。
5) 企画内容の創造性	その他、特に評価に値する点があるか	<ul style="list-style-type: none"> ・他の企画には見られない創造的なものがあるか。 ・斬新な工夫など特筆すべき点があるか。
6) 運営と事業効果・分析	適切な運営と、事業効果・分析が得られるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果や来客実績等の分析方法は適切か。また工夫があるか。 ・適切に運営できる仕組みができているか。 ・人員の確保やスタッフの事前研修の体制は十分か。 ・空間演出の企画・提案・実施はできているか。
7) イベントの開催実績	過去3年間に、公社や佐賀県関係機関、民間企業のイベント開催実績があるか。	
8) 経費の妥当性	見積額は妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・内訳の額が不自然ではないか、適切な見積額となっているか（高すぎる、または安すぎる額となっていないか）